



《学校教育目標》

「育成を目指す資質能力」

- やり通す「粘り強さ」
- 協力する「協働する力」
- 前進する「創造する力」

啓北中四本柱

- ・挨拶励行 ・環境美化
- ・私語撲滅 ・時間厳守



苫小牧市立啓北中学校 学校通信 令和7年10月31日発行

啓北中「6つの行動指針」 すべての教育活動を この考えのもと推進していきます。

- 01 **学ぼう** (子どもも教師も学ぼう)
- 02 **育てよう** (未来を生き抜く子どもに必要な資質・能力を育てよう)
- 03 **楽しもう** (子どもも教師も楽しもう)
- 04 **聞こう** (意見や悩み事など、子どもの声に耳を傾けよう)
- 05 **寄り添おう** (相手の立場になって考えよう)
- 06 **つながろう** (子ども同士をつなぐとともに、地域に、社会につなげよう)

夢と目標と挑戦

「私は若い選手たちに、夢を持つこと、特に、大きな夢を持つことを勧めます。そして同時に『夢』と『目標』の違いを理解することも大切だと伝えたいです。子どものころから私の夢はプロ野球選手でした。小学校6年生のころ作文を書いたくらいです。しかし今の経験をもっともし書き直せるなら『夢』という言葉の代わりに『目標』という言葉を使います。“夢”は必ずしも現実的とは限らないが、“目標”はそれをどう達成するかを深く考えれば実現可能になるからです。夢を見るのは楽しいが、目標に向かうのは困難で『挑戦』が伴います。『これがやりたい』というだけでは不十分です。本気で何かを成し遂げたいなら、それを達成するために必要なことを考える必要があります。夢を目標に変えるには、それを達成するために何が重要かをしっかりと考える必要があります。」

(イチロー氏 アメリカ野球殿堂入りの際のスピーチから一部抜粋)

私は、このスピーチを聞いた時に、今の自分の夢は何だろうか、目標は何だろうか、そして、その目標に向かって挑戦し続けているだろうか・・・と振り返りました。

中学3年生は、進路という夢、いや目標に向かって現在挑戦しています。夢を目標に変え、困難が伴う受験勉強に挑戦している3年生にエールを送ります。

ところで、お子様と「夢」について語り合ったことはあるでしょうか。おそらく、幼稚園や小学校低学年の時には「将来、こんなことしたい！あんなところ行ってみたい！」などというワクワクするような夢について語り合ったことがあると思います。中学生になった我が子とはどうでしょう。親としては、子供の成長とともに、特に中学生にもなると進路という現実的な話をするなど、“大きな”夢とは異なる話に終始してしまっていないでしょうか。

お子様と夢を語るにあたり、「読書」という方法を提案します。夢や職業といったことについて触れられている本を親子で読んで感想を言い合ったり、親としての夢を語ったり、お子様の夢について語り合ってみてください。そして、夢を目標に変えて挑戦する我が子を応援してあげてください。

中学生の今だからこそ必要なことです。

夢を目標に変え実現し、次の夢をもつ

苫小牧市立啓北中学校長 遠 藤 佳 伸



11月は  **「親子読書」強調月間**です
～親子いっしょに、同じ時間に、同じ場所で～



苫小牧市教育委員会・苫小牧市立中央図書館